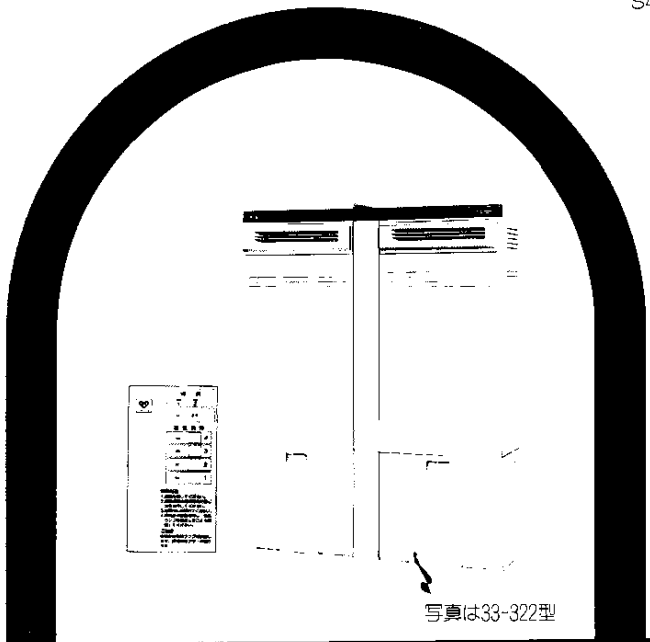


ガス湯沸器

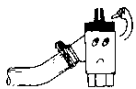
取扱説明書

33-322型
33-323型

保証書付
法定型式S32R1型
S48R1型



写真は33-322型



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



使用中は熱くなります手をふれないでください！



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求めいただきありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●湯沸器の設置	7
●使用手順	8
●使用時のご注意	10
●日常の点検・手入れ	14
●故障・異常の見分け方と処置方法	16
●アフターサービスのお申し込み	17
●特長	18
●寸法図と仕様一覧表	19
●本製品と快適なくらしのために	21

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

湯沸器本体の正面下にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と湯沸器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

この湯沸器はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。

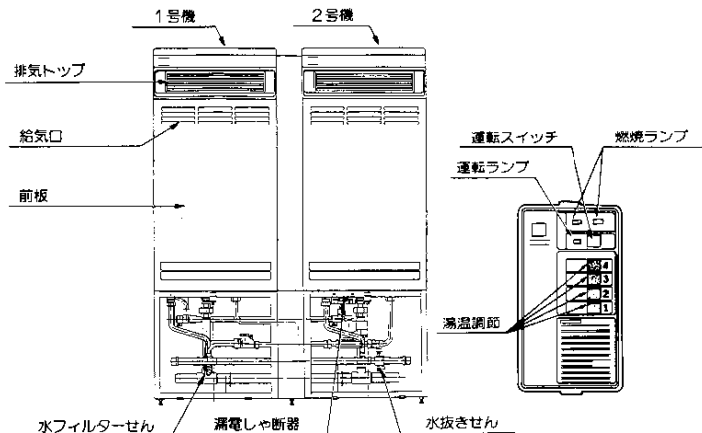
用途についてのご注意

- 給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

33-322型

(本体)

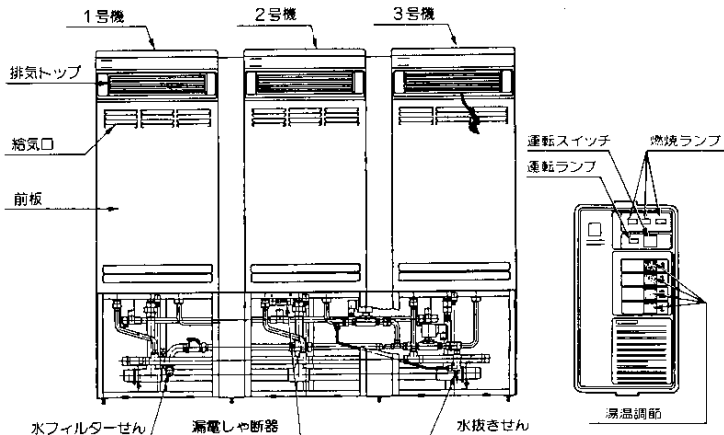
(メインコントローラ)



33-323型

(本体)

(メインコントローラ)

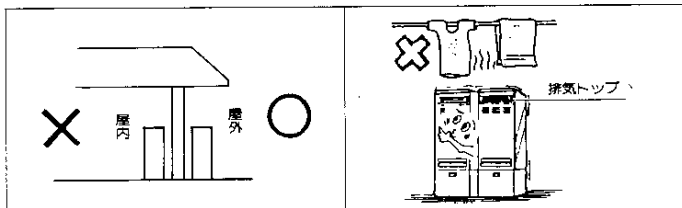


特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

●湯沸器の使用場所について

- ①屋外設置専用の湯沸器です。屋内には絶対設置しないでください。
- ②壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
- ③排気トップの上に洗濯物等がかからない所に設置してください。
- ④詳しくは「工事説明書」を参照してください。



●湯沸器の使用地域について

井戸水や硬度の高い硬水地域では使用できないことがあります。くわしくはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社におたずねください。

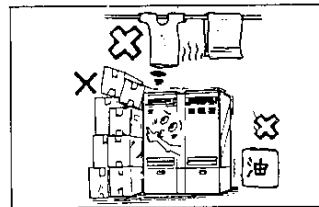
●メインコントローラの使用場所について

- ①湯気、湿気のないところに設置してください。
- ②ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所への設置はさけてください。
- ③屋外に設置しないでください。
- ④詳しくは「工事説明書」を参照してください。

特に注意していただきたいこと③

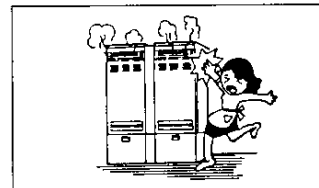
火災予防

- 湯沸器の上やそばに燃えやすいもの(せんたくもの、ダンボール、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないでください。

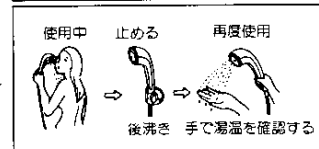


やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、湯沸器本体の排気トップは熱くなります。手を触れたりしないでください。



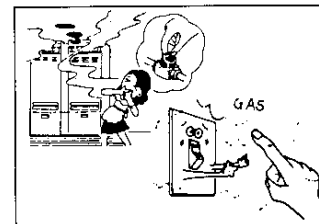
- シャワーをご使用后、すぐに再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかけず、少しだしてから手で湯温を確認してお使いください。



- 湯沸器の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止して、ガス元せんをしめ、絶対に使用しないでください。
- 万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



特に注意していただきたいこと④

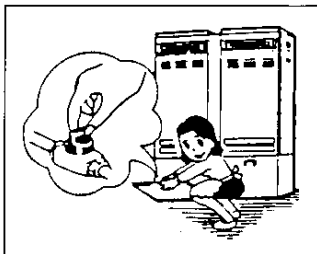
凍結についてのご注意

- 厳寒期には湯沸器内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は凍結防止処置を必ずおこなってください。(凍結防止処置方法については12ページを参照)
- 凍結したときは
 - ① 湯沸器や配管が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。
 - ② 凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないことを確認のうえご使用ください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止(運転スイッチ「切」、ガス元せん閉止)してじゅうぶんな点検をお願いします。

「故障・異常の見分け方と処置方法」については16ページをお読みください。

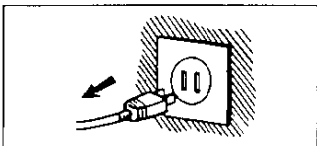


日常の点検・手入れ

- 湯沸器を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ずおこなってください。点検、手入れの方法については14ページをお読みください。

落雷について

- 落雷のおそれのあるときは、使用を中止して電源プラグを抜いてください。



湯沸器の設置

設置上のご注意

- 正しく設置されているか、工事説明書を参照のうえお客様自身で確認してください。

給水・給湯・排水・電気の接続

- 給水・給湯・排水、電気接続工事は専門の工事業者におまかせください。

ガス管の接続

- 鉄管接続になっていますので、ガス会社にご相談ください。

アースの接続

- 水道管およびガス管にはアース接続しないでください。

使用手順

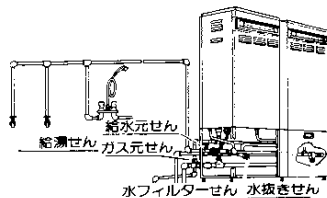
使用前の準備と確認

●湯沸器(機器)の操作をする前に次のことを行なってください。

1.給水元せん、給湯せんを開き通水することを確認してください。

確認後は給湯せんをしめてください。

2.メインコントローラの運転スイッチが切れているのを確認し湯沸器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。



3.ガス元せんを全開にしてください。

(ご注意) この湯沸器は停電の時には使用できません。

操作のしかた

1.点火

●メインコントローラの運転スイッチを押して「入」にしてください。運転ランプ(緑)が点灯します。

2.給湯(お湯の出し方)

●給湯せんを開けますと、自動的にバーナーに着火し、燃焼ランプ(赤)が点灯しお湯が出ます。(湯量に応じて33-322型の場合1〜2個、33-323型の場合1〜3個点灯します。)

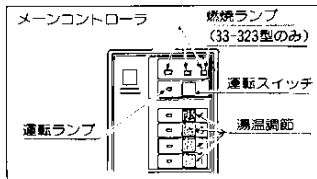
約10秒待っても着火しなかったときはブザーが鳴りますので、給湯せんを閉めて運転スイッチを切り再度運転スイッチを入れてください。

長期不在のあとや朝一番など、ガス配管中に空気が残っていて、一回で着火しない場合や、万一途中で燃焼ランプが消えた場合ブザーがなります。上記と同様の操作をしてください。

(ご注意)

●使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでお湯はできません。

●何回点火操作を行っても燃焼ランプが点灯しなく給湯せんからお湯が出てこない場合は、ガス元せんの開き忘れ、電源プラグの差し込み忘れなど確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス支社にご連絡ください。



使用手順②

3.湯温・湯量調節

●お使いになる湯温に、湯温調節をセットしてください。

セット位置	湯温(℃)	用途	セット位置	湯温(℃)	用途
1	約 35	洗濯など雑用	3	約 60	風呂用
2	約 42	シャワー用	4	約 80	風呂用

(ご注意) この湯温は目安の温度です。

ガス種および季節により多少変化することがあります。混合水せんで適温に調節してご使用ください。

(配管が長い場合は、調節したお湯の流れてくるのが遅れますのでご注意ください。)

- ご使用になる湯温にセットされたあとは、給湯せんを開けて湯を出してください。
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを絞ってお使いください。湯量は約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっています。(ご注意)

●寒い日には排気が結露して白い湯気が排気トップからでることがあります。異常ではありません。この湯沸器の効率がよいためですから安心してお使いください。



- 給湯せんで湯量を調節しますと水の中の空気が分離して、気ほうとなり湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配ありません。
- 季節による水温の変化、湯量によって湯温コントロールからはずれる範囲があります。

夏期、水温が30℃近くなりますと湯温調節を「1」にセットしても湯量が少ない場合、湯温が高くなります。このような場合は給湯せんを開けて湯量を多く出してください。

また「3」や「4」の位置では、給湯せんを全開で使うと高温が得られない場合があります。このような場合は、給湯せんを絞ってお使いください。

4.消火

●給湯せんをしめると、お湯が止まり、バーナーの炎が消えます。つぎにお使いになるときは、給湯せんを開くだけでバーナーに着火してお湯が出てきます。6〜7分以上お使いにならないとパイロットバーナーが消火しますので、お湯が出るのに少し時間がかかります。

●湯沸器をご使用にならない時は、運転スイッチを切っておいてください。

使用時のご注意

●飲料用、調理用としてお使いのとき

湯沸器内に長時間たまった水は飲料用または調理用に用いないでください。

●使用後すぐに再度お使いになるとき

湯沸器の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますので、少しだしてから手を触れるようにしてください。

●水圧が下がったとき

この湯沸器は、1kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が下がると、バーナーは消火しますが故障ではありません。(給水元せんは全開にしてお使いください。)

停電時の処置

①給湯使用していて停電になったときは使用できませんので、給湯せんをしめて、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

②再通電したときは、8ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

断水時の処置

①断水のときは、給湯せんをしめてメインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

②再使用するときは、必ず給湯せんから水のでるの確かめてから使用してください。

●使用手順は8ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

使用時のご注意②

安全装置が作動したときの処置について

使用中にメインコントローラより警報ブザーが鳴るときは、安全装置が作動しています。そのときは、使用を中止(運転スイッチを「切」にする)して給湯せんをしめてください。約1分間様子を見て再度運転スイッチを「入」にしてください。そのとき再び警報ブザーが鳴るときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス社にご連絡ください。

●立消え安全装置

万一使用中にバーナーの炎が消えても生ガスが出ないように安全装置が作動して自動的にガスが止まります。(ブザーが鳴ります)

●過熱防止装置(温度ヒューズ)

使用中湯沸器内の温度が異常に高くなったときは、安全装置が作動して自動的にガスが止まります。(ブザーが鳴ります)

●残火安全装置(湯温ハイリミット)

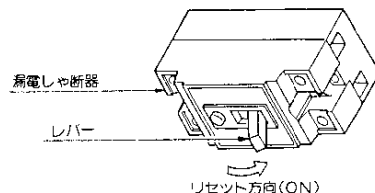
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは安全装置が作動して自動的にガスが止まります。(ブザーが鳴ります)

(ご注意)

残火安全装置が作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、湯沸器の損傷を防ぐため安全装置(過圧逃し弁)から圧力を逃します。作動したとき高温の蒸気が噴出しますのでご注意ください。

●漏電しゃ断器

雨水などで湯沸器に異常電流が流れた場合、漏電しゃ断器が作動して湯沸器への通電を停止します。そのときは、リセット(ON側へレバーを倒す)して、湯沸器を使用してください。再度、漏電しゃ断器が作動する場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス社にご連絡ください。



凍結防止処置

1. 冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

- この湯沸器には、万一凍結防止処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために凍結予防（電気）ヒーターを組込んでいます。外気温が下がると自動的に湯沸器内を保温します。
- これは、凍結予防のためのもので、外気温が -5°C 以下になるような場合は、効果がありませんので、湯沸器内の水を抜く処置をしてください。

〔ご注意〕

- 湯沸器内の水を抜くとき以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと凍結予防（電気）ヒーターが作動しません。

2. 湯沸器内の水を抜く方法

〈外気温が -5°C 以下になるような場合、入居前や長期不在の場合〉

- この方法は給水配管部分の凍結防止はできません。

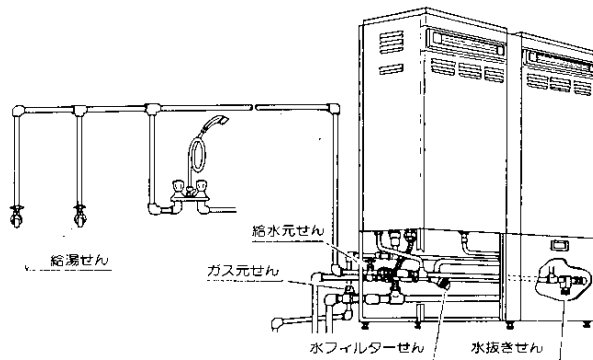
次の手順で湯沸器内の水を抜いてください。

- (1) メーンコントロールの運転スイッチを切る。
- (2) ガス元せんを開める。
- (3) 給水元せんを閉める。
- (4) すべての給湯せんを開く。
- (5) 水抜きせん、水フィルターせんを左に回す。

〔ご注意〕

水抜きせん、水フィルターせんと給湯せんは次にお使いになるときまで、ゆるめたままにしておいてください。

再度ご使用されるときは、水抜きせん、水フィルターせんを閉め給水元せんを開き、給湯せんから水が流れるのを確かめてからメーンコントロールの運転スイッチを入れてください。



点検・手入れの際のご注意

- お手入れはやけどをしないように湯沸器がじゅうぶん冷えてからおこなってください。

点 検

- 湯沸器の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気トップや給気口をふさいでいませんか？
※排気トップ、給気口の位置は2ページ「各部の名称」を参照してください。

定期点検について

- 湯沸器はご使用にしようがなくても、2～3年に1回ぐらい、バーナーや各部の作動が“正常”かどうか点検するのが、安全と長期間ご使用いただくための“ひけつ”です。
- お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス支社に、点検・診断を依頼してください。

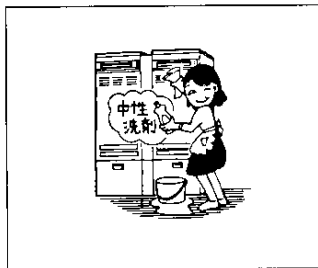
お手入れ

1. 前板のそうじ

- 汚れは布又は、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。

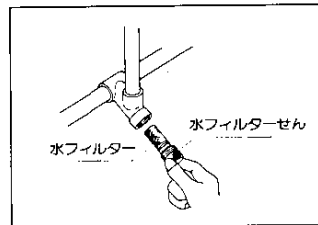
（ご注意）

洗剤が残らないようにふきとってください。
シンナーやベンジンなどでふかないでください。（湯沸器本体の色、表示ステッカーの字などが消えます。）



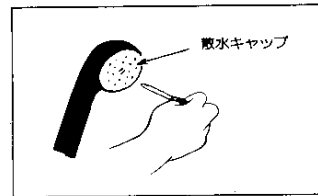
2. 水フィルターのそうじ

- 水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんをしめ、水抜きせんを左に回してはずし、水フィルターを引き出して、そうじしてください。（水フィルターをまげないでください。）



3. シャワーヘッドのそうじ

- シャワーをお使いになるとき、お湯がでにくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの敷水キャップを取外してそうじしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

■故障、異常の見分け方と処置について (○=主原因 △=原因)

現象	原因	異常					処置方法	参照ページ
		給湯せんを閉めても着火しない。	着火しにくい。	使用中に着火しにくい。	高温の湯が出ない。	使用中湯温が極端に変動する。		
ガス元せんの開き不十分。		△	△	○			器具せを一たん閉じてからガス元せんを全開にする。	8
配管内に空気が残っている。		△	△				ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用。	8
ガス圧が適切でない。	低い 高い	△	△				他の器具も同様の場合は点検依頼する。(他に原因がないとき)	—
給水元せんの開き不十分。		○	△	△			給湯せんを一たん閉じてから給水せんを全開にする。	8
水圧が適切でない。	低い 高い	○	△	△	△		点検又は点検依頼する。(他に原因がないとき)	—
水フィルターのつまり。		△	△	△	△		つまり除去又は点検依頼する。	15
断水している。		○	○				使用を一たん中止する。	8・10
凍結している。		○					解凍するまで使用を中止する。	6
バーナー炎口つまり、空気口つまり。		△	△			△	点検を依頼する。	—
熱交換器の目つまり。			△	△		○	点検を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。				○	○	○	「使用方法(湯温・湯量調節)」参照。	9
給湯せんの開き不足。		△	○	○			給湯せんを全開にする。	8
ノズルつまり。		△		△			点検を依頼する。(他に原因がないとき)	—
安全装置が作動。		○	○				点検を依頼する。(度々作動する場合)	11
水がバーナー、水流スイッチの故障。		△		△	△	○	点検・修理・部品交換を依頼する。(他に原因がないとき)	—

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス支社にご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ご確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 品名……(ガス湯沸器)
- ② 品番……湯沸器の正面に貼付してあります。

(例)

(4)33-322(U)

大阪ガス株式会社 07

- ③ 現象……(できるだけ詳しく)
- ④ 道順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ・大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

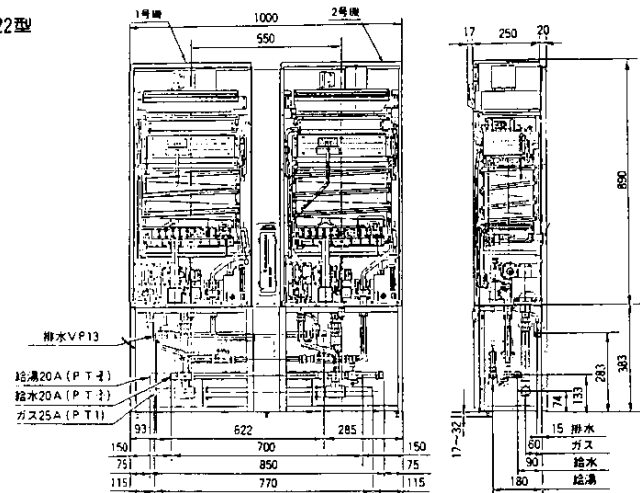
- この湯沸器には保証書がついています。このガス湯沸器は保証書に記載のように、湯沸器の故障について修理します。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

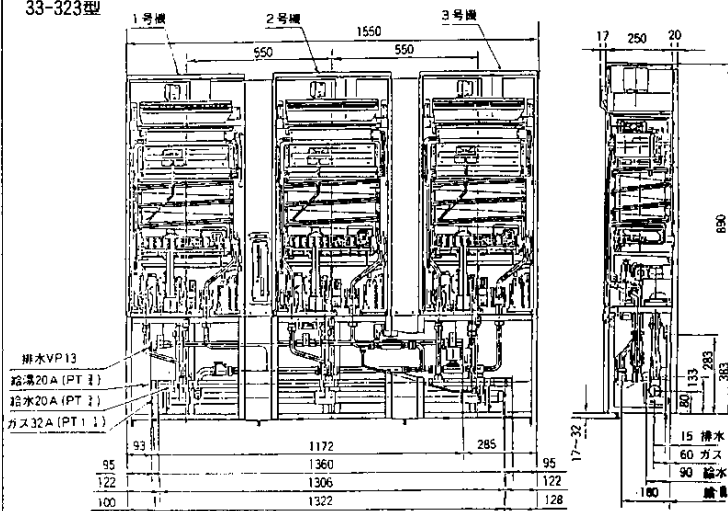
- 1 この湯沸器は、1台で数カ所に給湯できるガス湯沸器〈瞬間先止式・屋外設置型〉です。
- 2 遠隔操作(メインコントローラ)により湯沸器より離れた位置で、自動的に点火・消火および湯温調節が行なえ、非常に便利です。
- 3 ガス・お湯の無駄の少ない省エネルギータイプです。
 - 潜熱回収器を組み込み、高い熱効率(約90%)を実現し、33-322型の場合26号のガス消費量で32号 33-323型の場合39号のガス消費量で、48号の出湯能力のお湯が得られます。(冬期外気温の低い時、排気が結露して湯気となって出ることがあります。)
 - 出湯能力は33-322型の場合32.0号～3.5号まで33 323型の場合48.0号～3.5号まで自動的に調節できます。従って使用用途に応じて適温適量のお湯が得られます。
 - パイロットバーナーはメインバーナー消火後約7分で自動的に消火しますので経済的です。
- 4 電子コントロール方式で出湯温度を感知して自動的にガス量を制御しますので季節により水温が変化しても出湯温度は一定です。
(湯温・湯量の調節範囲に関する詳しいことは、9ページをお読みください。)
- 5 湯温設定はメインコントローラのスイッチをセットするだけで、夏場のシャワーや高温の湯を自由に選択できます。
- 6 比較的水圧の低い地域でも、低温から高温のお湯が得られます。
- 7 耐風・耐雨性をもたせた屋外設置型ですから、お部屋の空気を使わず、清潔です。また給排気工事が不要のため手軽に設置できます。

寸法図と仕様一覧表

33-322型



33-323型

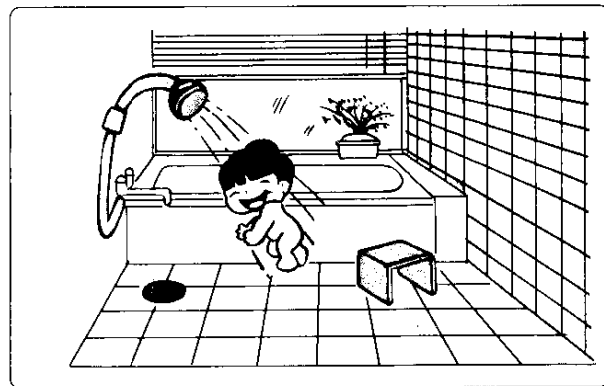


仕様一覧表

項目	33-322型				33-323型			
	都市ガス (13A)	都市ガス (6C)	都市ガス (6A)	LPガス	都市ガス (13A)	都市ガス (6C)	都市ガス (6A)	LPガス
最大ガス消費量(kcal/h)	53.400	53.400	53.400	4.46 kg/h	80.100	80.100	80.100	6.69 kg/h
外形寸法(mm)	高さ1290×幅1000×奥行287				高さ1290×幅1550×奥行287			
重量(kg)	92				140			
接続	ガス	25A (PT 1)			32A (PT 1¼)			
	給水	20A (PT ¾)			20A (PT ¾)			
	給湯	20A (PT ¾)			20A (PT ¾)			
	排水	VP13			VP13			
	電気	単相AC100V (60Hz)			単相AC100V (60Hz)			
消費電力(W)	給湯時	140			210			
	ヒーター	280			420			
点火方式	連続スパーク点火				ダイレクト着火			
使用水圧(kgf/cm ²)	1 ~ 10							
出湯量(水温+25℃)(ℓ/分)	(32)~3.5				(48)~3.5			
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ●立ち消え安全装置(フレームロッド方式) ●残火安全装置 ●過圧逃し弁 ●過熱防止温度ヒューズ ●緩点火装置 ●風圧スイッチ ●水流スイッチ ●凍結予防ヒーター ●漏電しゃ断器 							
付属部品	<ul style="list-style-type: none"> ●メインコントローラ(S) ●器具固定板 ●転倒防止金具(S) 							

備考 ●出湯量の()内数値は湯水混合水せんで混合した数値です。

本製品と快適なくらしのために



年中、快適にシャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

お願い

ガスくさいときはお部屋の元せんで閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。